

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月12日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	奈良県町村会	代表者名	車谷重高		
担当者部署	政務課	連絡先電話番号	0744-29-8253		
担当者役職	課長	担当者氏名	倉本潤一	連絡先E-mail	
住所	634-0061 奈良県橿原市大久保町302番1				

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名	明日香村	連絡先部署	総務財政課		
担当者氏名	福井正浩	連絡先電話番号	0744-54-2001	連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	原田 智
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	国の方針をただ紹介するだけでなく、研修参加者の副市町村長や幹部職員の立場や考え方を踏まえた説明であった。研修内容、レベルについて、受講者のアンケートから多くの参加者にとって適切であった。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年11月8日	13時30分	15時30分		120
3-2. 派遣場所	会場名	奈良県市町村会館		最寄駅	畝傍御陵前駅
	所在地	奈良県橿原市大久保町302番1		最寄駅からの交通手段	徒歩5分
	派遣形態	講演(実地)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="checkbox"/> 掲載可
------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	副市町村長及び幹部職員	71人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	令和7年度までの地方公共団体の標準準拠システムへの移行に対して、どのように取り組んだら良いのか戸惑う自治体があった。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	自治体DXに対して、意義を理解し、取り組む心構えや実際の業務イメージを持つ。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	自治体におけるDX推進の必要性と意義、自治体DX推進計画、自治体におけるDXの進め方・事例について講演いただいた。新型コロナウイルス感染症対策のため、幹部職員の一部はオンラインで聴講。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	自治体DXに対する知識・意識の向上。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	参加者の自治体DXに対する知識・意識の醸成。	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし。引き続き「市町村長」向けの研修を実施する。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 多くの受講者にとって内容、レベルともに適切であった。一部の自治体では物足りないという意見もあったが、これは自主的にすでに取り組んでいる結果であり、我々が想定する研修結果に受講前に到達していたと思われる。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	奈良県下の市町村が、令和7年度までの地方公共団体の標準準拠システムへの移行へ向けて、円滑に取り組むことが出来る。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

